

令和7年5月

府立天王寺高校硬式テニス部創部130周年・ソフトテニス部創部

80周年記念事業（オムニコートの寄附）に対する募金のお願い

大阪府立天王寺高等学校が令和8(2026)年に創立130周年を迎えるなか、令和10(2028)年には硬式テニス部が創部130周年を、ソフトテニス部が創部80周年をそれぞれ迎えます。

私たちの母校である天王寺高校は、これまでも学業を含め学校生活やクラブ活動を通じて育んだことを基盤として、各界に数多くの優秀な人材が輩出されてまいりました。この伝統は、硬式テニス部・ソフトテニス部も同じで、現在の生徒たちも、公立高校として府下の大会や近畿大会などで活躍しており、更なる飛躍を目指しています。しかし、現状の練習環境は必ずしも十分ではなく、特にテニスコートの整備が課題となっております。

現在のクレークコートは、土壌の管理が難しく、雨天時には水溜まりができるなど、練習に支障が出る状況です。そこで、私たちOB・OG有志は、現役生徒たちがより良い練習環境で活動できるよう、新たなテニスコートの設置を目指し、寄附活動を進めることを決定いたしました。このプロジェクトは、母校創立130周年記念事業の一環として、またそれぞれの部活動の創部記念事業として、オムニコート2面の整備を共同で行ってまいります。

○ 寄附の内容

- ・ 現在のテニスコート（クレークコート）2面の場所にオムニコート2面を設置する。

○ 寄附の目的

1. 現状の課題解決：現在のクレークコートは、維持管理が難しく、雨天時には使用できないなど練習に支障が出ており、これの改善を図ります。
2. 現役生徒への支援：競技で活躍する生徒たちに、より良い練習環境を提供し、さらなる飛躍を支援します。
3. OB・OGの恩返し：私たちがかつて受けた支援への感謝を込めて、今度は私たちが支援する番だという思いから、このプロジェクトを立ち上げました。
4. 記念事業として：天王寺高校の創立130周年記念、ならびにそれぞれの部活動の創部周年記念事業として位置づけています。

○ 寄附の意義

皆様からのご寄附は、単なる施設の設置にとどまらず、現役生徒たちが天王寺高校生として文武両道を実践するための場となります。このテニスコートで培った技術と精神は、将来的に彼らが各分野でリーダーシップを発揮するための糧となるでしょう。

どうか、このプロジェクト募金の趣旨をご理解の上ご賛同いただき、私たち OB・OG とともに天王寺高校の未来を支える一助としてご寄附にご協力賜りますようお願い申し上げます。

寄附の詳細は次ページ「募金要綱」及び別紙「寄附金控除について」をご覧ください。

府立天王寺高校

硬式テニス部創部 130 周年・ソフトテニス部創部 80 周年記念事業募金委員会

- | | | |
|----------|--------|---------------------------|
| (1) 委員長 | 益 英之 | (桃陰テニスクラブ会長 高 28 期) |
| (2) 副委員長 | 中喜多 孝之 | (桃陰 S T 会会長 高 30 期) |
| | 内堀 晴則 | (大阪府立天王寺高等学校 教頭) |
| (3) 会計 | 速水 義一 | (桃陰テニスクラブ会計 高 21 期) |
| | 笠井 翔希雄 | (桃陰 S T 会会計 高 65 期) |
| | 石田 智恵 | (大阪府立天王寺高等学校 事務長) |
| (4) 監事 | 佐野 博俊 | (桃陰テニスクラブ 高 34 期) |
| | 和気 裕子 | (桃陰 S T 会会計監事 高 29 期) |
| (5) 委員 | 玉置 佳一 | (桃陰テニスクラブ 高 28 期) |
| | 篠崎 敦士 | (桃陰テニスクラブ 高 75 期) |
| | 村上 陸 | (桃陰テニスクラブ 高 76 期) |
| | 森田 吉範 | (桃陰 S T 会副会長 高 30 期) |
| | 松山 貴則 | (桃陰 S T 会 高 42 期) |
| | 野口 結衣 | (桃陰 S T 会 高 66 期) |
| | 福永 直也 | (大阪府立天王寺高等学校職員、硬式テニス部顧問) |
| | 中島 正樹 | (大阪府立天王寺高等学校職員、硬式テニス部顧問) |
| | 韓 佑樹 | (大阪府立天王寺高等学校職員、ソフトテニス部顧問) |
| | 五味 伸介 | (大阪府立天王寺高等学校職員、ソフトテニス部顧問) |

<連絡・問合せ先> 桃陰テニスクラブ touin.tennis.club@gmail.com

桃陰 S T 会 touin.st.kai@gmail.com

募金委員会HP

(高校同窓会HPにリンクする形で準備中)

～両部顧問からのメッセージ～

生徒たちは厳しい環境の中、工夫を凝らして練習に励み、大きな成果を上げています。
また、部活動は人間的な成長を育む場であるとも考えております。
両部の益々の発展に向けて、温かいご支援お願い申し上げます。